

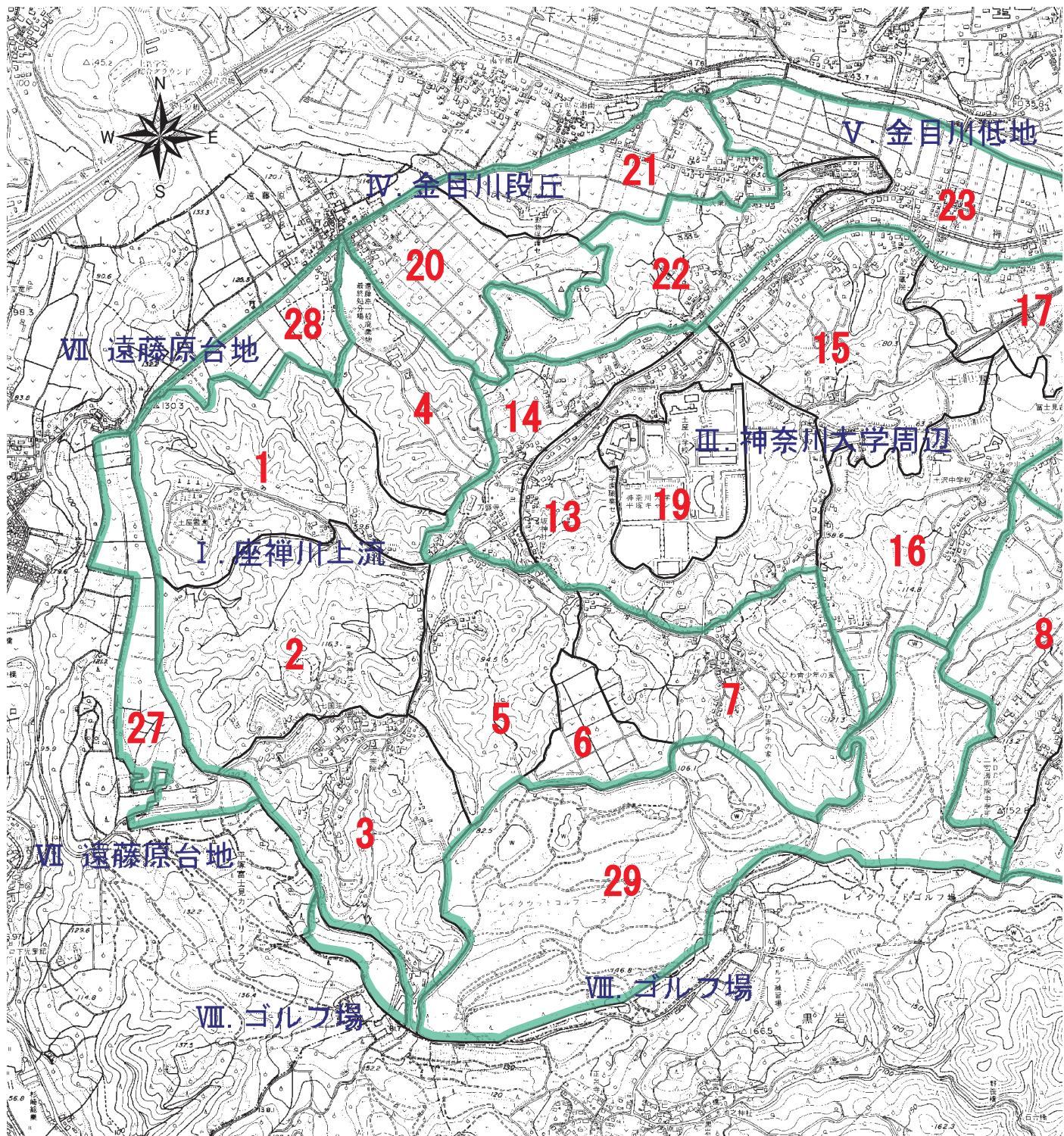
## 4. 調査地域の区分

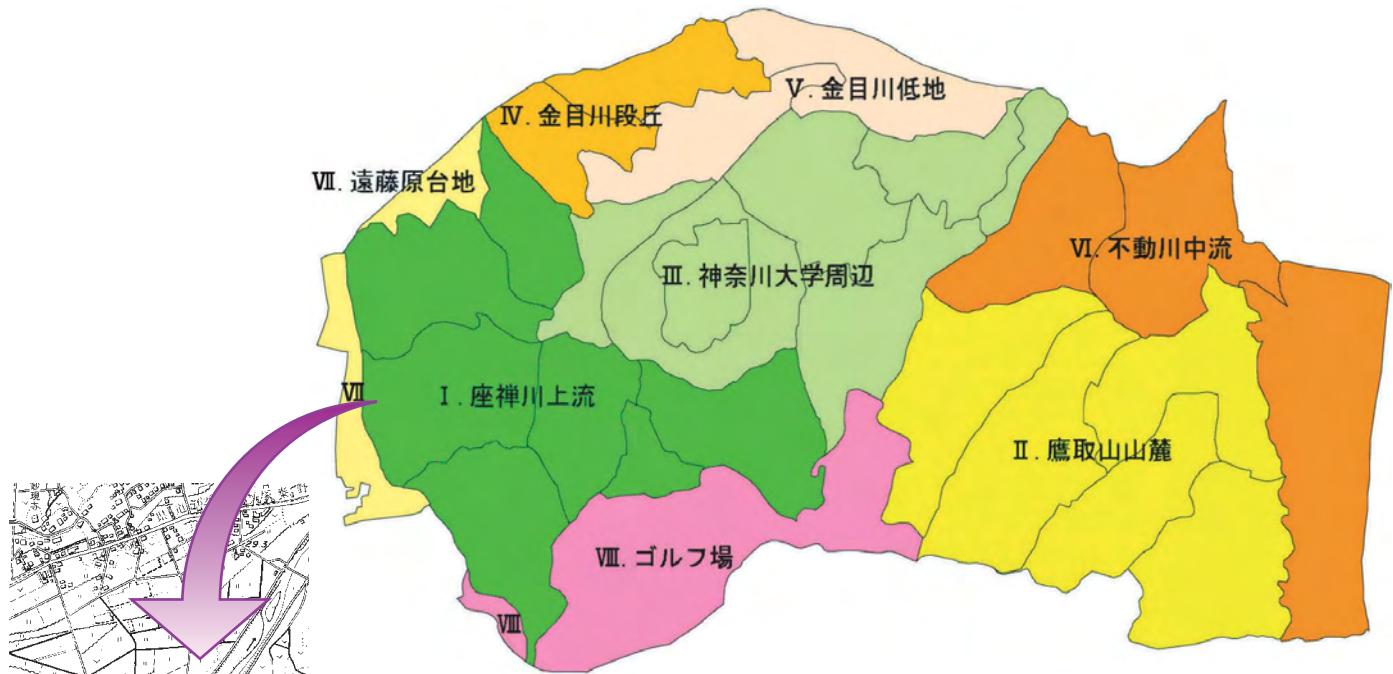
### ■調査地区（大地区・小地区）

人とのふれあいの評価および総合評価にあたっては、自然評価と同様の地区区分を用いました。自然評価では、神奈川県地域環境評価書（平成2年3月発行）の区分を参考に、自然のまとまりである地形や分断要素となる道路や土地利用をもとに、地区区分をしました。

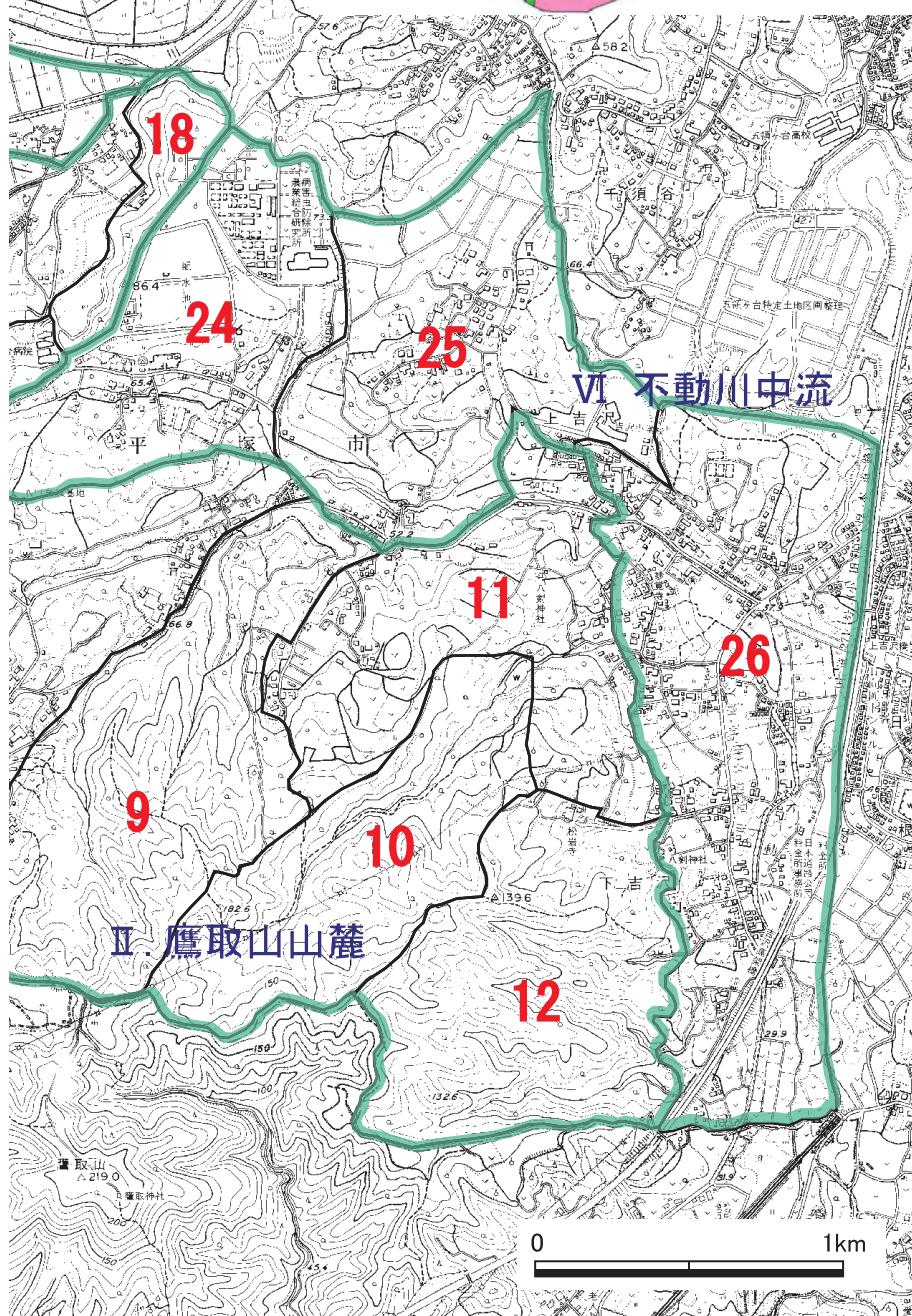
地区の区分は下図のとおりであり、地形、土地利用、縁のまとまりなどを目安に大きく8つの地区に区分し、大地区としました。さらに各地区をより詳細にみるために、29の小地区に細区分しました。

### ■大地区・小地区の区分





■ 大地区の区分



I~VIII 大地区名

1~29 小地区番号

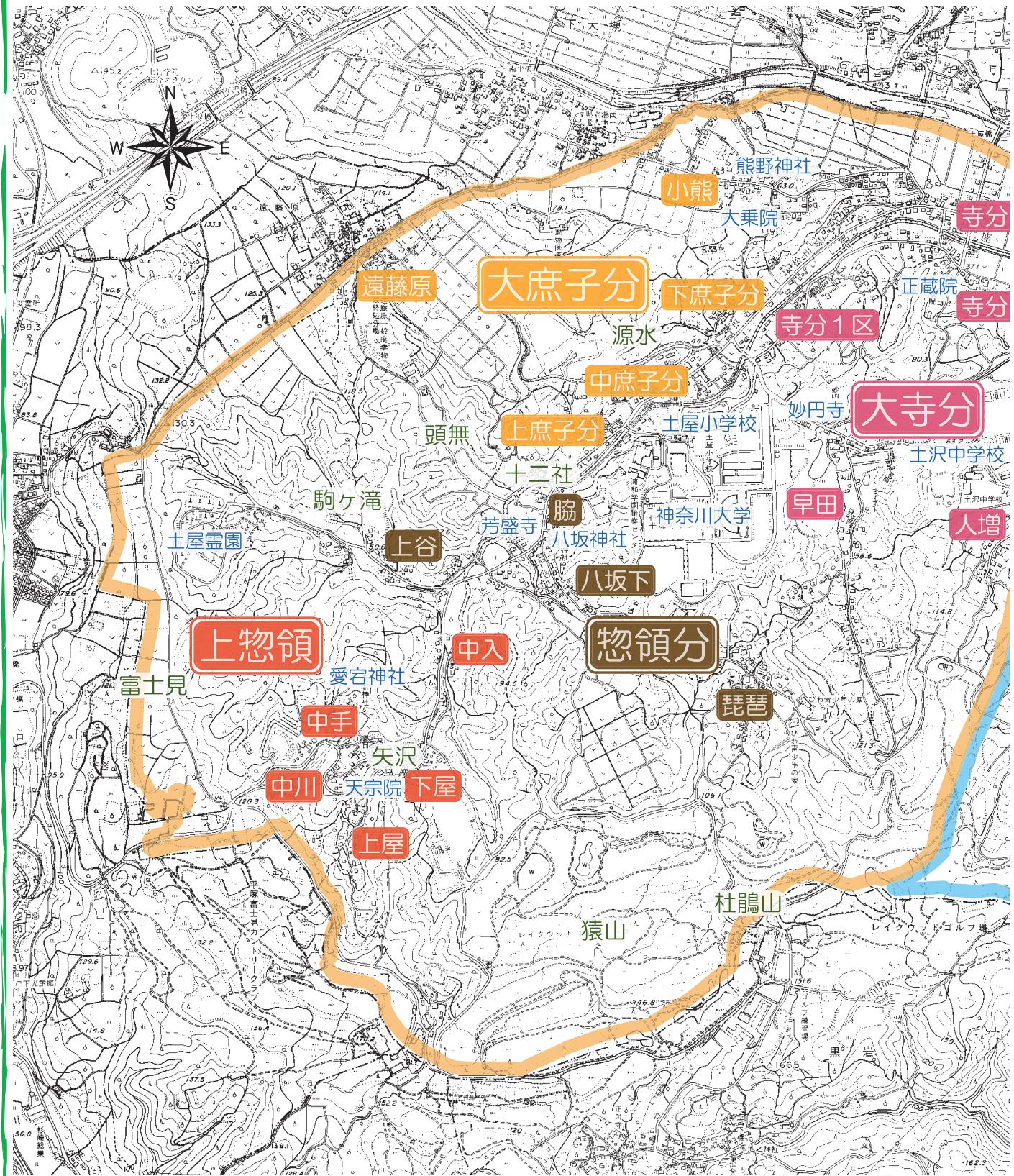
大地区境界

小地区境界

## 西部丘陵地域の地名（自治会区名と主な地名など）

西部丘陵地域は、大きく分けて土屋地区と吉沢地区に分かれています。古くは土屋村、上吉沢村、下吉沢村の3村でしたが、明治時代に合併して土沢村となり、その後平塚市に編入されました。

現在の土屋地区は、大寺分、大庶子分、惣領分、上惣領の4つの自治会に分かれており、吉沢地区は、上吉沢、中吉沢、下吉沢の3つの自治会に分かれています。（平成17年度）



下図では自治会名とその中の区名について示していますが、区名ではないが地元の人たちが通称名で呼んでいる地名もあったため、主なものについてはこれも示しています。

